

# BTO6

June  
1994

第689号 1994年6月1日発行毎月1回1日発行  
1948年4月20日第3種郵便物認可 ISSN0287-2218

## 美術手帖

Monthly Art Magazine  
Bijutsu Techo  
Vol.46 No.689

### from Aboroao

Rheinlande London Paris New York  
Berlin New Delhi Los Angeles Praha

from Rheinlande ニーホルツ

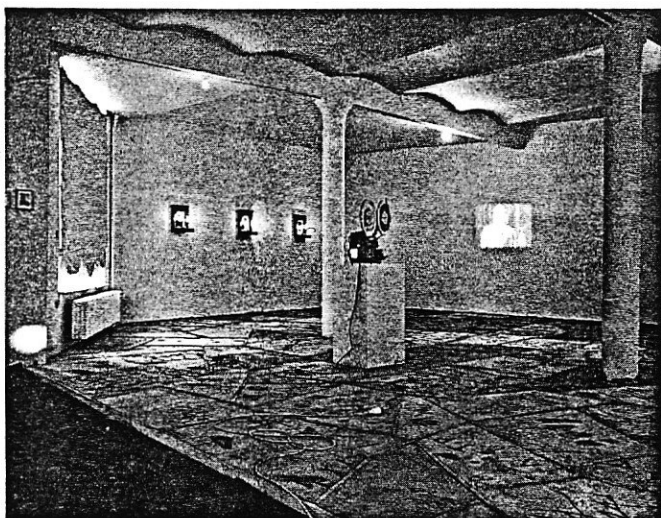
【訳】鈴木陽子

「Norma Talmadge's Chinese Theater : The European Leg」,  
「Art after Collecting」, etc.

ケルンのギャラリー・シーンは  
つねに変化している。美術館やギ  
ャラリーの入口付近の外壁には、  
それが美術関係の場所であること  
が一目でわかるよう、黄色いバナ  
ナのマークが付けられているが、  
訪れる人の少ないいくつかの展覧  
会場は、しばらくすると店舗の賃  
借人が替わり、消されずに残った  
バナナのマークはトレンディな美  
容院やデザイン事務所などの壁を  
飾ることになる。しかし、このよ  
うな閉店は移転であることも多い。  
ケルン市内の三か所の美術地区、  
すなわち市中心部、ベルギー地区、  
市内南部でも、たくさんギャラ  
リーが転出、転入した。また、マ

ックス・ヘッツラーやパウエル・メ  
ンツのようにベルリンに移転する  
画廊もある。ちなみにベルリンは  
現在、おそらく最も頻繁にギャラ  
リストが移転してくる都市となっ  
ている。

美術作品の媒介についての見解  
も、動いているようだ。鑑賞者は  
ふたたび作品に参加させられるこ  
とが多くなり、アーティストはよ  
り一層の積極性を見せている。そ  
んな例をふたつ紹介する。ひとつ  
はギャラリー・ホーエンタール&  
ベルゲンで展示されたデヴォン・  
ディクールのインスタレーション「ノ  
ーマ・タルメツジの中国の劇場」  
「ヨーロッパの脚」(三月十日―三月三



デヴォン・ディクール/Devon Dikeou  
「ノーマ・タルメツジの中国の劇場」 展会場風景  
Courtesy Galerie Hohenthal & Bergen, Köln

十一日で、もうひとつはギャラリ  
ー・フィロメネ・マーガースで開  
かれた「アート・アフター・コレ  
クテイニング」(二月二十五日―四月十  
六日)である。

第一部の訪問者は、一九二〇年代  
にノーマ・タルメツジが初めてセ  
メントで手形を取ったというハリ  
ウッド・スターの大通りからイン  
スピレーションを得て、セメント  
の入ったさまざまな箱の中に手や  
足を押しつけ、自分の存在を永遠  
に記録するよう促された。タルメ

ディクールの展覧会は二部に分か  
れ、ハリウッド特有のスター崇拜  
を引き合いに出している。展覧会